

小川芋銭展開催中！

初公開の作品をぜひお見逃しなく



3点存在するブロンズ像のうちの1点、一色五郎作「芋銭翁」



一般公開に先立ち行われた内覧会では、芋銭の作品を1つ1つ詳しく解説



エスカード生涯学習センターの展示会場

9月14日、エスカード生涯学習センターのエスカードスタジオで「第4回小川芋銭展」が始まりました。

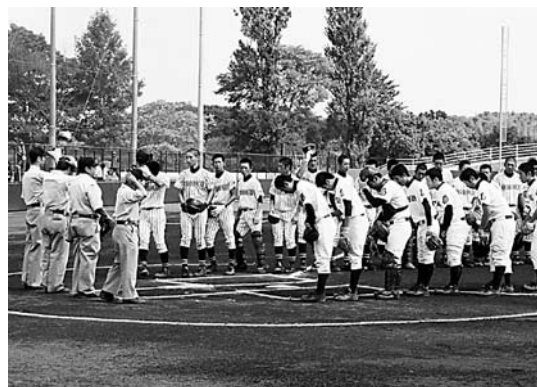
郷土が生んだ画聖・小川芋銭の芸術を紹介する「小川芋銭展」は隔年で開催されていますが、一昨年は東日本大震災の影響で中止になり4年ぶりの開催となりました。

今回の第4回展は、昨年度末の『小川芋銭全作品集』の刊行を記念し、開催されています。主な展示品は、新たに購入した河童百図7

点、池田龍一氏から受贈した資料および芋銭宛ての横山大観書簡などで、近年牛久市の所蔵となった小川芋銭作品・資料が公開されています。

この展覧会は10月14日まで、会期中無休で開催されています。ぜひ、貴重な芋銭作品・資料の数々をお楽しみください。(時間は午前10時から午後5時、入場無料。ただし、入場は午後4時30分まで。最終日は午後3時終了)

スポーツ施設を核に地域のにぎわいづくり



新しいグラウンドで試合をする牛久高校の選手

9月14日、牛久運動公園野球場で、「市内初」開催となる「秋季県南地区高校野球大会」の公式戦が行われました。

牛久運動公園野球場は、平成29年度まで順次改修中ですが、グラウンドの拡張工事を9月1日に終え、このたび利用を再開しました。14日は地元の牛久栄進高校と牛久高校が試合に登場。観客席には地元チームを応援しようと多くの方が訪れました。今後はスコアボードや観客席の整備が進み、完成すると観客収容数が約4300人の本格的な野球場になる予定です。

真夏の夜に野球の熱戦



ナイターでの試合に子どもたちも大満足

8月4日・10日に牛久市野球スポーツ少年団主催による「第17回牛久ロータリークラブ杯学童野球大会」が開催されました。

牛久ロータリークラブが、野球が大好きな地域の子どもたちにも「夏休みにナイターを経験してもらおう」という目的で始まったこの大会も、今回で17回を迎えました。今年も市内外16チームの出場により、猛暑の中、2日間に渡り白熱した試合が行われました。

結果は、優勝が刈谷イーグルス、準優勝が荒川沖サニーズ・乙戸ファイターズ合同チーム、第3位が牛久中根サンダースでした。

100歳をお祝い

9月9日、敬老の日を前に、池辺勝幸市長が市内の100歳を迎えた6人の方のお宅を訪問しました。市長からお祝いの褒状と記念品を手渡された皆さんは、嬉しそうに受け取りました。

今年度、市内で100歳を迎える方は11人。その中の1人、鈴木ウシノさんは大正2年生まれで、杖も使わずに外出されるなど元気に生活されています。健康の秘訣を尋ねられると、「食事は食べたいものを自分で料理して食べています。お酒も少し嗜んでいます」とご自分なりの秘訣を明かしてくれました。



100歳を迎える鈴木ウシノさん(写真左)

困難を乗り越えて

8月23日、市中央生涯学習センター文化ホールで「平成25年度人權啓発講演会」が開催されました。講師として講演を行った鈴木ひとみさん(右写真)は、「ミス・インターナショナル準日本代表」に選出され、その後ファッションモデルとして活躍。しかし、撮影の帰り道に自動車事故に遭い、車椅子での生活となりました。講演の中で、鈴木さんは「28年前の事故をずっと引きずっている」と苦しい胸の内を語る一方、ご主人の伸行さんに励まされながら二人三脚で歩んできた事故後のリハビリ生活を語りました。



現在は執筆活動や講演活動を行うとともに、企業のバリアフリーアドバイザーや射撃選手としてパラリンピックにも出場するなど事故前にも増して、精力的な活動を続ける鈴木さん。観客の皆さんは真剣に話を聞いていました。

最高位「菊章」へ進級

9月10日、日本ボーイスカウト牛久第2団の岡百菜さんと清水颯子さんがボーイスカウトの最高位「菊章」進級の報告に市役所を表敬訪問しました。菊章を取得したスカウトは菊スカウトと称され、制服の左ポケットに「菊スカウト章」を着用することができます。



菊章を取得した岡百菜さんと清水颯子さん(写真左)

「第4回関東牛久マレットゴルフ交流大会」

＜8月4日、市総合福祉センター、134人出場＞
(敬称略)

順位	男子の部(所属)	女子の部(所属)
優勝	石山敬之(牛久)	村崎フク子(牛久)
準優勝	三上三郎(牛久)	鈴木佳子(川越)

「牛久マレットゴルフ友の会」では、健康・体力作り・親睦を目的に、生涯スポーツとして毎日楽しく活動しています。興味のある方は一度体験しに来てください。

問 牛久マレットゴルフ友の会(小西) ☎872-1251

中学生平和使節団を 広島へ派遣

7月29日から3日間、牛久市中学生平和使節団が広島へ派遣されました(左写真)。

市内の中学2年生計25人が広島市を訪れ、戦後68年たった今も残る原子爆弾による被害を受けた建物などを見学したり、実際に被爆された方からお話を伺ったりしました。

参加した団員からは、「原子爆弾の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、平和と命の尊さをあらためて考える良い機会となった」などの声が聞かれ、大変意義深いものとなりました。今後団員たちは、12月14日に市中央生涯学習センターで行われる「牛久市平和の集い」で活動の成果を発表していく予定です。



民謡民舞少年少女全国大会で日本一獲得



日本一を喜ぶ「日本のおどり」座キッズ

8月10日・11日に東京都品川区で行われた「平成25年度民謡民舞少年少女全国大会(日本一決定戦)」(文化庁、公益財団法人日本民謡協会主催)の「コンクール民舞団体の部」で、「日本のおどり」座キッズが「八木節」を披露し、見事優勝しました。

8月30日には優勝報告のため市役所を訪問した「日本のおどり」座キッズ。優勝について「皆で団結して優勝できてよかった」、「来年は2連覇を目指します」と感想や今後の意気込みを元気よく語りました。

水難事故防止看板を 3カ所に設置

7月16日、牛久警察署生活安全課とひたち野交番連絡協議会が水難事故防止看板を市内3カ所に設置しました。

「あぶない、ケン」の文字とイラストが描いてあるこの看板は、ひたち野東の調整池に1カ所、小野川沿いに2カ所設置を終えました。小中学生が登下校時に通る道路沿いに看板が設置されたことで、子どもたちが水難事故に遭わないよう注意を喚起し、安全・安心のまちづくりの推進に一役買っています。



市内3カ所に水難事故防止看板を設置

ふるさと応援寄附金

8月23日、日本ボーイスカウト牛久第1・第2・第4団が東日本震災復興支援のため、「うしくかっぱ祭り」でそれぞれ集めた寄付金の合計6万6380円を「ふるさと応援寄附金」として市に寄付しました。



日本ボーイスカウト牛久第1・第2・第4団の皆さん

9月11日、(有)イーベック牛久(淀川文男代表・写真左)から100万円が「ふるさと応援寄附金」として市に寄付されました。

